

## 第1、 近況、雑感

1. 6月15日、満89歳。ヤク90、約＝アバウト人間ということか、厄年にはしたくない。この歳でミスター巨人も去った。前世紀なら相当の長命者と言われたろうが、89歳で人生を閉じた先人はすごい。まず戦前、親鸞（～1262）、ミケランジェロ（～1564）、頭山満（～1944）、戦後では吉田茂（～1967）、石橋湛山（～1973）。
2. 90歳を前にして、とにかく健康体で毎日会社で動けて、MINERA21の愛用者と電話で話ができる毎日が嬉しく楽しい。本をたくさん読みたいので目のためにパソコンはやらない、テレビは見ない。おかげで裸眼でも新聞は読める。そのかわり、新聞二紙・週刊月刊雑誌15冊に毎月追われる感じ。読書は毎日新本1冊と再読本1冊を心掛けているが、月末に整理して満足と思えないことが増えてきました。それなのに書評に惹かれて買った積読本は3,000冊を超えていて、時々家人に、買って読めそうもない本を何故買うの、と問い詰められ、社会人・経営者としてこの程度のことは知らないと恥ずかしいと答えながら、少年時代は古本しか手にできなかった反抗か、変に向上心が強いのも困ったものと、酒が入った時は自省。
3. 健康のために気を配って実行していることはと聞かれることが多くなりました。このMINERA21のおかげと答えたいが遠慮して、食品添加物を避けて外食はしない。自社農場の無農薬野菜を多く摂り、良質な水と空気と深海塩、と答えると「北緯43°の深海塩」の販売を急かされて、事業能力の不足を反省。
4. 更に続ければ、病名を大事にしている方にお叱りを受けそうですが、医者にかからないことも大きい。特にガマン強い訳ではないが、自覚症状がないので診察を受けていない。実はどこかにガンがあり、ステージXかも知れないが売薬もビタミンを補給するだけで薬代はなし。MINERA21は自給でタダの生活、50年以上病名がつかず89歳。身長が6cm縮んで158cm、体重は65から58kg前後。早足はムリだが杖なし歩行、入浴・買物自由、少々難聴気味。楽しくて毎日叫びたいが、そんな時は昔の唄を大声で唄い、機会あるごとに飲酒。仮病名“アル中ハイマー上級”
5. 自分のことはこの位にして、心配しても仕方がないが、一体全体日本という国はどこへ向かうのだろうか。「米は買わずに貰うだけ」「能登地震は幸運」「日本ファースト、なめるんじゃないよ」など叫ぶ政治屋さんが目につくが、参院選でも大筋は変わらず、トランプがどう叫ぼうとプーチンがどう暴れようと習さんも相当弱ってきているようで、間もなく居なくなるだろう

から、断然30年苦しんだ日本復活の日は目の前、とほくそ笑んでいる老人がいても良いはず。

6. ここ数年、終活中止宣言をした結果、空家・未使用建物が計200坪以上、土地に至っては山林も多いが100haを越えてしまいそうで、この固定資産税も惜しいと悩ましいが、35年以上経っている余市町の海水浴場近くの民家を利用して子供食堂をやりたいと希望の中年夫婦に内部改造してもらい、楽しそうな空間、余市カフェ「double」(余市町浜中町92-1 開設者 三好加織)がやっと完成。塗り替えられた白壁が淋しいので、私の「さっぽろギャラリー山の手」から10人の作家を選んで、「よいちギャラリー海の手」を開設し、蔵書から5,000冊ほど子供に読んでもらいたい本を寄贈することにしました。7月27日オープンとのこと、関心のあるかたのお声がけをいただけましたら嬉しい次第です。

## 第2、 今月の報告文

- ・「進次郎コメ劇場」の貧相な楽屋裏 (2025.7 選択)

## 第3、 今月の再読本

- ・ 「いのちへの礼儀」 国家・資本・家族の変容と動物たち  
(生田武志、2019.2.25、筑摩書房 2,750円)
- ・ 「脳のなかの水分子」 意識が創られるとき  
(中田力、2006.8.28、紀伊国屋書店 1,760円)
- ・ 「水の科学」第三版  
(北野康、2009.10.25、NHKブックス 1,177円)

## 第4、 今月のことば

- いつまでも資本合併と株式取得でしか生き延びられないのでは困るのです。(松岡正剛 「フライジャイル・弱さからの出発」)
- 素直で正直・器が大きなアホであれ。アホは神の望み。(村上和雄がたどりついた世界)
- NO KINGS(王はいらない) (トランプ79歳の軍事パレード抗議 2000件より)
- 「大統領」というものが、時代や国籍を問わず、どうも好きになれない (蓮實重彦)

2025年6月30日

サンケン環境株式会社

代表 山形 健次郎